



# 関ロタークラブ

URL <http://www.seki-rc.org/> E-mail [seki-rc@abelia.ocn.ne.jp](mailto:seki-rc@abelia.ocn.ne.jp)  
TEL (0575)22-9332 FAX(0575)22-9977

RID2630 ROTARY CLUB OF SEKI ■会長 藤井 淳 ■副会長 古田貴巳 ■幹事 三輪雄彦



2015~16 年度 国際ロータリーテーマ  
「世界へのプレゼントになろう ( Be a gift to the world )」  
RI 会長 K.R. “ラビ” ラビンドラン

2015~16 年度 関ロータリークラブテーマ  
「 ONE FOR ALL , ALL FOR ONE 」 第 50 代会長 藤井 淳

第 2396 号

平成 27 年 12 月 8 日 (火)

## 前例会の記録 第 2395 回 12 月 1 日(火)12:30

会員卓話 「新聞販売店について」 高木道彦さん

◆開会点鐘

◆「君が代」「奉仕の理想」斉唱

◆会長挨拶 藤井 淳



今までは、病気のお話を中心にしてきましたが、今後は医師会活動についても少しずつお話をしていきたいと思えます。医師会活動といっても色々あるのですが、今回は大地震など災害時の医療体制についてお話をしたいと思えます。何故その話からするかと申しますと、実は

一昨日の日曜日、朝 9 時から夕方 6 時頃まで大垣市のソフトピアジャパンで行われた、岐阜県災害医療コーディネーター研修会に参加したからです。既に私自身のフェイスブックに載せましたので、ご存知の方もみえますが、今日はその内容について簡単にご紹介いたします。参加者は、岐阜大学病院院長の小倉教授、岐阜市民病院院長の富田先生、木沢記念病院の山田先生、大垣市民病院救急センター長の山口先生、岐阜、岐阜市、東濃の各保健所長、大垣市、羽島郡、揖斐郡、武儀郡(私)の医師会代表の皆さんが出席して行われました。今回の研修は、災害医療 ACT 研究所の方が音頭を取って下さいました。お手伝いをして下さったスタッフの皆さんは、山形県立中央病院、東北大学病院をはじめ、石巻、熊本、さいたま、沖縄、高山、名古屋第一の赤十字病院などの医師、薬剤師、看護師、救命士の方々と災害医療センター DMAT 事務局、災害医療 ACT 研究所事務局の皆さんです。研修の内容は、岐阜県の災害医療体制、救護班調整演習、避難所アセスメント、(災害対策)本部運営技術、本部体験訓練などでした。一番面白くて大変だったのは、最後に行われた災害対策本部体験訓練でした。某年 2 月 19 日午前 7 時

46 分に発生した内陸断層(養老-桑名-四日市断層帯)を震源とする M9.0 の地震発生後 3 日目(2 月 21 日)の岐阜県に在ることを想定して行われました。岐阜市、大垣市、岐阜県庁の災害対策本部内の医療コーディネーターチームの一員となり、防災無線、携帯電話(災害時は衛星電話)を使って対応しました。私は、岐阜県庁チームに配属されましたが、N 大橋が倒壊した。長良川 S 地区の堤防が決壊した。O 病院が倒壊しそうなので見に来て欲しい。K 病院が倒壊したので至急現場急行し、患者搬送が必要。などの報告や依頼が殺到し、そのたびに本部長に報告し、対応を協議した後 DMAT を派遣する等の連絡作業に追われました。あっという間の 2 時間の模擬訓練でしたが、へとへとに疲れ果てました。今回の養老-桑名-四日市断層帯地震(西濃地域で震度 7、岐阜圏域や中濃圏域の一部で震度 6 以上)が、冬の午前 5 時に発生した時の人的被害想定は、岐阜市で死者 867 名、負傷者 6137 名、大垣市で死者 1300 名、負傷者 6500 名となっております。また衝撃的な揺れにより液状化が発生する可能性が高いと考えられます。大垣地域の 47%、上石津地域の 6%、墨俣地域の 100%が液状化すると想定されています。ちなみに養老-桑名-四日市断層帯地震の今後 30 年以内(基準日平成 26 年 1 月 1 日)に地震が発生する確率は 0~0.7%です。内陸型の活断層地震で最も確率の高いのは、阿寺断層帯(主部、北部)で発生確率は 6.0~11.0%です。しかし最も確率の高いのは海溝型地震である南海トラフ巨大地震で、今後 30 年以内の地震発生確率はなんと 70%程度ということです。災害医療コーディネーター研修会は、岐阜県では今回で 3 回目ということですが、私は初めて参加させて頂きました。この研修会は、特定非営利活動法人 災害医療 ACT 研究所が毎月どこかの都道府県で行っています。東日本大震災における石巻合同救護チームのコーディネーターの実際を伝えるた

めに設立されたのが ACT 研究所です。大地震などの災害は起きないことを願いますが、災害への備えは必要です。災害を経験したことの無い私たちは、被災地から学ぶべきだと改めて感じました。会員の皆さんは食料品、飲料水の備蓄など自分たちでできる災害への備えをしてみえろと思いますが、賞味期限切れになっていないかなど今一度ご確認下さい。

#### ◆会員増強表彰

国際ロータリー日本事務局より記念のバッジを贈呈



藤井淳さん

#### ◆委員会報告

◎出席委員会 副委員長 岩倉宏幸

会員 47 名中 出席 29 名 出席率 65.91%

◎ニコボックス委員会 委員長 掛布真代

会長・副会長・幹事の皆さん・・・新聞販売店のお話とのことですが、クラブをお持ちで…。もしやゴルフレッスンをしていただける…？今日はとても楽しみにしております。

堀部、酒井、長尾、加藤(浩)、後藤、林(昇)、大澤、西本の皆さん・・・今日は関RCのアスリート高木道彦さんです。本業の新聞の未来についての内容と思います。テーマは「新聞販売店について」ですがどんなお話か楽しみにしております。

大澤竜一さん・・・先般の家族親睦旅行にはたくさんの方に参加いただきありがとございました。来る12月19日(土)岐阜都ホテルにて、家族例会を行います。フランス料理を食べながらマジックショーを見ていただきます。ぜひ多くの方の参加をお待ちしております。

◆会員卓話「新聞販売店について」 高木道彦さん

それでは「新聞販売店について」ということですが、まず新聞販売店の軸となる仕事は「配達」です。配達といっても朝刊・夕刊・そしてメール便も配達します。新聞販売店がメール便も配っていることは、あまり知られていないかもしれません。その次に、新聞代金をいただく「集金」、そして「営業」です。営業は基本的に飛び込み営業で、主に以前読んでいただいていたお宅や新築を建てられたお宅にお邪魔します。もちろん他の新聞を読んでいるお宅にも訪問します。なかなか成果は上がりませんが、地道な訪問活動が今後の成果としてあらわれると信じて中日新聞をPRしていくしかありません。なぜ新聞を読む人が減っているのでしょうか？ 高齢化が進む

世の中ですが、新聞販売店にもダメージはあります。よくある断りの理由に「目が見えなくなって新聞が読めなくなった。」というのがあります。視力の低下による止めです。本当に新聞が好きで読んでいただいているお客様は団塊の世代から上の方が多



いです。高齢化が進むにつれて、この層のお客様が減ってしまうのは新聞販売店にとって大きなダメージになりますので、みなさま新聞は長く読んでいただきますようお願いいたします。20代後半から30代の世代というと結婚しマイホームを持つ方も出てきます。この世代は今までに新聞を読んだことが無い方が多くなりますので、新聞を読む習慣がない方へのPRは新聞販売店の課題になると考えています。もう一つ新聞販売店がターゲットにしているのは、こどもです。最近ではこども向け新聞「中日こどもウイークリー」という新聞も発行しています。小さい頃から新聞に触れてもらうことで、新聞を知ってもらい、紙面では歴史や英語など勉強にも役立つ内容となっており読み方や新聞の活用法なども紹介しています。この「中日こどもウイークリー」は知識のプレゼントと題し、おじいちゃんおばあちゃんからお孫さんへ新聞をプレゼントすることも出来ます。わかりやすく言いますと、支払いはおじいちゃん。読むのはお孫さん。という感じです。新聞を読むと成績が上がるといっている大学の先生もいますので、是非お孫さんへ知識のプレゼントとしてみてはいかがでしょうか。その他に新聞販売店では、新聞への付加価値をつけようと取り組んでいます。自店では「Cチケット」といってナゴヤドームや中日劇場などのチケット販売もしています。他には防災グッズの販売や先月には高齢者見守り協定を関市と結びました。以前、関RCでも講座があったと思いますが認知症サポーターとして地域の高齢者の見守り活動もしています。記事では地元のいろんな記事を取り上げ、地域の読者が喜んでいただける新聞でありたいと思っています。地元や会社などの記事がありましたら、どんどん教えて頂きたいと思えます。新聞販売店ではいろんな事をやって頑張っています。これからも新聞、特に中日新聞をよろしくお願ひします。最後まで宣伝になってしまいましたが、ご清聴ありがとうございました。

次例会のご案内

12月15日(火)12:30

「年次総会」

担当：会長、幹事

\*\*\*\*\*  
例 会：毎週火曜日 12:30 (第3週は水曜日に 18:30)  
例会場：岐阜県関市本町 6-20 大垣共立銀行関支店2F  
事務局：岐阜県関市平和通 7-10-25 アメリカ